

平成30年度地震・津波防災訓練 (内閣府・山口県・柳井市)

実施報告書 (概要版)

山口県柳井市について

柳井市は、山口県の南東部に位置し、沿岸部、内陸部、半島・島しょ部からなり、気候は、冬も温暖で比較的雨の少ない過ごしやすい地域です。

平成30年には、避難行動要支援者避難行動支援計画（全体計画）及び避難行動要支援者個別計画を作成し、その周知を図るとともに、市全体の総合防災訓練・災害図上訓練・津波避難訓練・職員参集訓練、各学校・保育園・幼稚園の避難訓練、各自治会・自主防災組織の避難訓練等により自分の身は自分で守るという意識の醸成を図っています。特に、市として自主防災組織の立ち上げに努めており、自主防災組織を立ち上げた上で、昨年度までは市が計画して避難訓練を実施していたものを、今年度からは、自主防災組織自らが計画し、実行するような防災訓練となるように、自主防災組織に主体性を持ってもらうような試みを実施しているところである。



訓練概要

- 訓練想定：11月5日（月）09:00にM9.0の南海トラフ巨大地震が発生し、柳井市は平郡島で震度6強、本土側で震度6弱を記録、柳井市の沿岸地域では、約4mの津波が予想される。柳井市は、地震発生後ただちに住民に対し防災行政無線等により津波からの避難を呼びかけるとともに、浸水想定区域内の市災害対策本部をサンビームやないに移設することを決定した。
- 実施日時：平成30年11月5日（月）09:00～11:00
- 主催：内閣府、山口県、柳井市
- 参加者数：約5,100名
- 参加機関：自治会・自主防災組織、市内小・中学校・保育園・幼稚園、気象台、NTT、市社協、警察、消防、消防団、自衛隊、柳井商工会議所、大畠商工会

訓練の評価

訓練当日は、天候に恵まれ、小学生、中学生、保育園・幼稚園の園児を含め、地域住民や企業等を合わせ約5,100名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、住民や小学生のアンケート結果、「繰り返し訓練をすることが必要」、「自治会や家族でいつも話し合うことが必要」、「訓練は課題を多く抽出することが、災害に備えて大変重要」という評価の一方で、「家族との連絡手段を決めていない、避難先・避難経路を知らない人の割合の方が多い」という傾向が見られ、「避難した後の連絡等の訓練も考えてもらいたい」、「住んでいる地域の排水能力を知りたい」、「防災放送をする時は、まず、サイレンを大きく鳴らして、注意を向けてから話す」等の意見も出された。

柳井市職員からは、「今回の訓練を通して、公的な防災関係機関だけでなく、小中学校等とネットワークを構築できたことは、今後の防災対策を進める上で大変有意義なものであった。」「市の災害対策本部設置準備に当たり、本部にあるべき機能や体制についての教訓を得たことは、大災害を経験していない本市にとって貴重な経験となった。」との所見が出された。

また、小学校ではシェイクアウトの際に机の脚を両手で斜めに固定するよう指導されており、「机の下に入っているだけでは、揺れにより机が倒れる恐れがあり、机の脚を両手で斜めに固定させる。」というシェイクアウトの基本姿勢を全体に普及していく必要がある。

さらに、高齢化が進んだ地域では、中学生は支援者として大きな存在であり、引き続き自治会と中学校が連携した訓練を実施することが必要である。

当日の訓練内容

09:00～ シェイクアウト訓練

柳井市全体を対象に自らの命は自ら守るという「自助」の取組みに重点を置き、地域住民、小中学校、保育園、幼稚園、市職員が各々の場所で一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を実施した。

▼柳井小学校



▼柳井南中学校



▼柳井市役所



09:05～09:30 津波避難訓練

シェイクアウト訓練後、各種津波避難の呼びかけに応じ、児童・生徒及び住民は計画で定めた津波避難場所へ避難、防災関係機関は避難誘導・避難支援を実施した。

▼柳井小学校



▼柳井南中学校



▼住民



09:30～10:10 防災機関・協定締結企業等による装備品等展示

各防災機関が使用する車両・資機材の性能諸元・運用の概要を周知するため、警察・消防・自衛隊の車両展示及び防災機関・協定締結企業等による装備品展示を実施した。



09:00～10:20 市災害対策本部移設訓練、10:20～10:45 気象台防災講習会

浸水想定内の市役所から代替施設（サンビームやない）へ災害対策本部移設訓練を実施また、防災意識の高揚を目的とした気象台による地震津波及び風水害に関する防災講習会を実施した。

▼市災害対策本部移設訓練



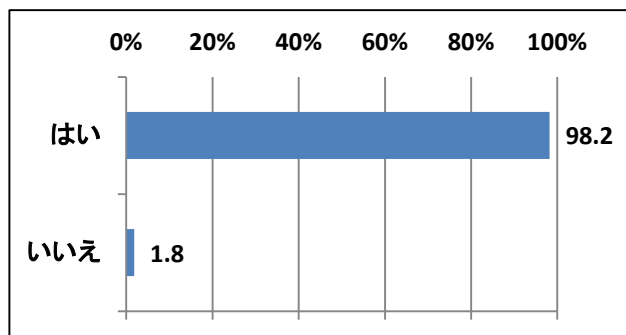
▼気象台防災講習会



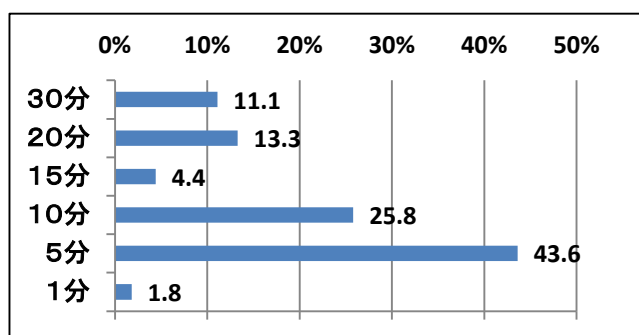
アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（全回答数：56人）

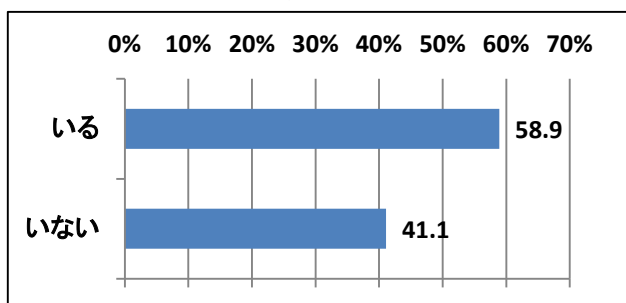
柳井市が作成したハザードマップを見たことがありますか。（回答数=56）



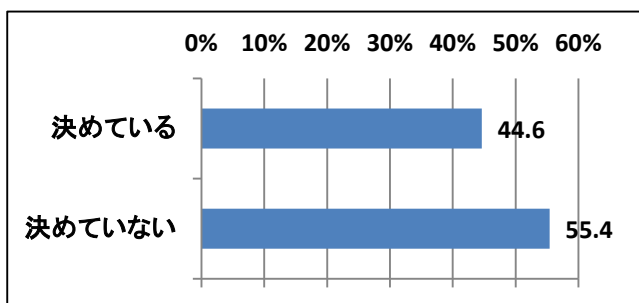
地震発生から避難先へは何分くらいかかりましたか。（回答数=56）



あなたの周辺には、避難行動要支援者がいますか。（回答数=56人）



災害時に一緒にいない家族との連絡手段を決めていますか。（回答数=56）



【自由意見】

- ・ 日頃から訓練をしていないと、実際に災害があった時に行動（活動）できないと思った。繰り返し訓練をすることが必要である。
- ・ 早く行動を起こすこと、早めの避難の大事さがわかった。
- ・ 自治会や家族でいつも話し合うことが必要だと思った。
- ・ 実際に発生した時、冷静に行動できるように心掛ける。
- ・ 多くの課題を掘り起こし、改善に努力して欲しい。
- ・ 避難経路の危険箇所を発見できて良かった。災害講話も参考になった。
- ・ 避難経路の危険箇所を確認することができた。
- ・ 内水氾濫危険地区の指定等を周知してほしい。

